

《女川原子力発電所の安全対策について紹介します》

現在、当社は、女川原子力発電所2号機の安全対策工事を鋭意進めており、2022年度の工事完了を目指しています。今後、発電所だよりでは、女川原子力発電所の安全対策をシリーズで紹介してまいります。

シリーズ① 地震から守る

基準地震動の見直し 580ガルから1,000ガルへ

当発電所では、従来、基準地震動を580ガル※に設定(東日本大震災時に計測された揺れは567.5ガル)して地震対策を行ってきましたが、最新の科学的・技術的知見を取り入れ再評価を行った結果、基準地震動を1,000ガルに引き上げました。

この基準地震動の見直しを踏まえ、原子炉建屋の部材の追加・強化をはじめ、配管や電線管をサポートで補強するなど、さらなる安全性向上に向けた耐震工事を実施しています。

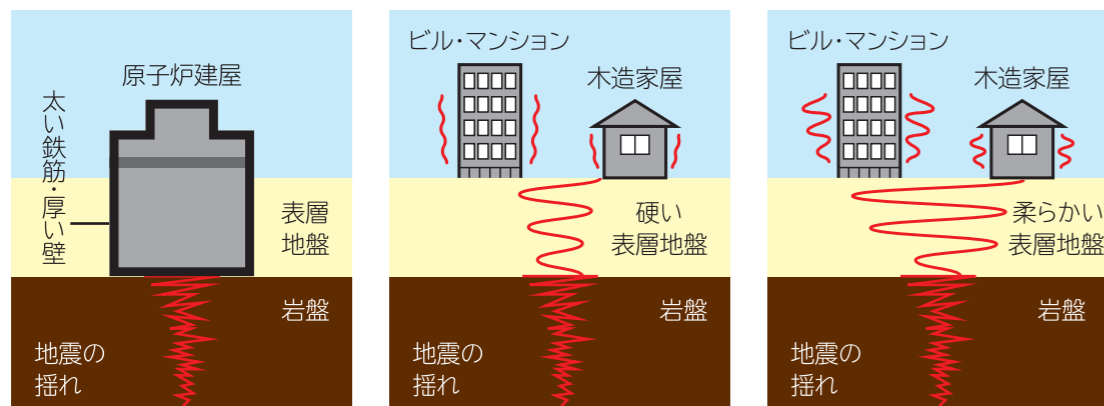
※ガル:地震の揺れの強さを表す単位。数字が大きいほど揺れも大きくなる。

基準地震動とは

基準地震動とは、原子力発電所の耐震設計において基準とする地震動のことで、敷地周辺において発生する可能性がある最大の地震の揺れを示すものです。

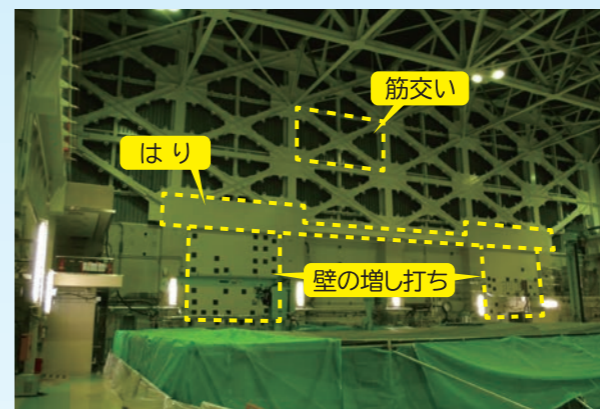
原子炉建屋など重要な施設は、一般の建物が建てられている地盤に比べて地震による揺れが小さい岩盤の上に直接設置しています。

また、重要な施設や機器については、裕度をもった耐震設計を行っており、基準地震動を超えれば必ず損傷するものではありません。



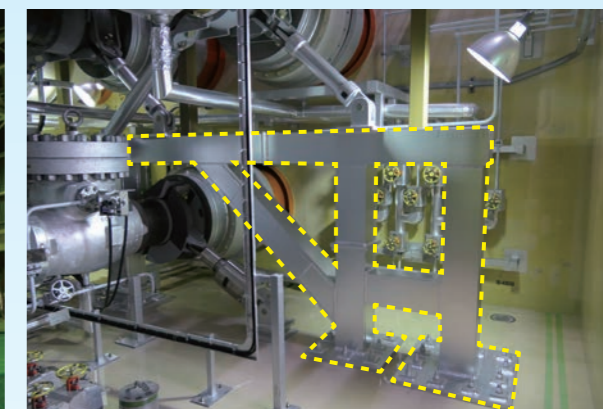
耐震工事の一例

原子炉建屋の耐震工事



原子炉建屋上部の耐震性を向上させるため、筋交いやはりなどの鉄骨部材の追加や壁の補強(増し打ち)を実施しました。

主蒸気配管の耐震工事



原子炉からタービンに蒸気を送る配管の揺れを抑えるため、サポートで補強しました。

私は、原子炉建屋の耐震工事や、万が一原子力災害が発生した際に現地指揮本部となる緊急時対策建屋の建設工事に携わっています。

日ごろから建築分野の協力企業だけでなく、さまざまな分野の方々と積極的に話し合い、協力しながら工事を進めていくよう心掛けています。

今後も、女川2号機の再稼働に向けて、安全対策工事の品質維持・向上に努めるとともに、日々の業務に真摯に取り組んでまいります。

土木建築部 建築グループ
大川原 巧(福島県出身)



《「第19回東北電力図画コンクール」一般投票を行います》

「第19回東北電力図画コンクール」(募集期間:7月20日～8月31日)に、たくさんの作品をご応募いただきありがとうございました。

10月1日から31日までの期間(19日の休館日を除く)、一次審査を通過した200作品を女川原子力PRセンターに展示し、来館者の皆さまによる一般投票を行います。

ぜひご来館いただき、お気に入りの作品に投票してください。



昨年の展示の様子

《女川原子力PRセンターで“収穫体験”してみませんか》

女川原子力PRセンターのスイートガーデンで育てた「りんご・だいこん・さつまいも」の収穫体験を開催します。ぜひご家族の皆さままでお申し込みください。

日時 10月24日(土)、10月25日(日)
【各日】 午前の部 10:00～12:00
 午後の部 13:00～15:00

収穫体験

- ・りんご狩り(一人2個)
- ・だいこん掘り(一人1本)
- ・さつまいも掘り(一組につき1株)

お申し込みは
こちら ▶▶▶



お問い合わせ

女川原子力PRセンター
TEL 0225-53-3410
9:30～16:30 休館日/9月23日、10月19日



※新型コロナウイルスの感染防止の観点から、混雑時はお待ちいただく場合があります。作物の生育状況等によっては、収穫体験を中止させていただく場合があります。荒天の場合は収穫体験を行わず、作物の配布のみとなります。

《女川原子力PRセンターリニューアル情報～パート2～》

女川原子力PRセンターでは、原子力をはじめとしたエネルギーの現状を楽しみながら学べるよう、館内の各コーナーをリニューアルしましたのでご紹介します。

エネルギーミックスコーナー

さまざまな発電方法をバランスよく組み合わせる「エネルギーミックス」の大切さについて、アニメーションなどを使って、より楽しく学ぶことができるようになりました。

また、電球の中に入り込んでしまったようなトリックアートを撮影できるフォトスポットもお楽しみいただけます。

新型コロナウイルス感染防止対策に取り組みながら、皆さまのご来館をお待ちしております。



トリックアート



コーナー全景



◀◀◀ 女川原子力PRセンターホームページ

ご来館される際は、事前にご予約をいただきますとともに、マスク着用、検温、手指の消毒などにご協力をお願いします。詳しくはこちらのQRコードよりご確認をお願いします。

《「第28回東北電力杯ソフトボール大会」が開催されました》

9月6日、第28回東北電力杯ソフトボール大会(主催:女川町ソフトボール協会、協賛:東北電力(株)女川原子力発電所)が、女川町総合運動場において開催されました。

当日は天候にも恵まれ、8チームが参加し熱戦が繰り広げられました。決勝戦は「オヤンズ」と「アベ住建」の対戦となり、延長タイブレークの末、4対3で「オヤンズ」が優勝を飾りました。



はつらつとしたプレーを見せる選手たち



優勝を果たした「オヤンズ」チーム

大会結果

優勝 オヤンズ

準優勝 アベ住建

第三位 鹿島建設女川

第三位 東芝ダンディーズ

最優秀選手賞

和田 萌楓さん(オヤンズ)

優秀選手賞

沼倉 竜次さん(アベ住建)

優秀選手賞

西田 大希さん(鹿島建設女川)

優秀選手賞

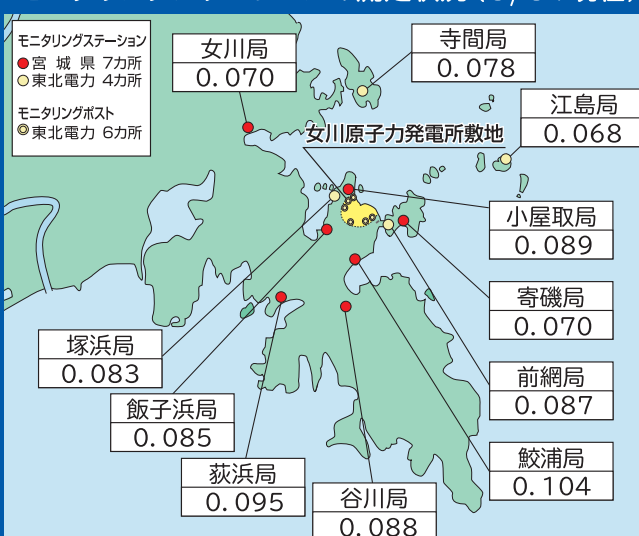
神谷 大雅さん(東芝ダンディーズ)

《女川原子力発電所周辺の放射線量は安定しています》

女川原子力発電所周辺の放射線はモニタリングポスト※1やモニタリングステーション※2で測定・監視しており、その測定値は宮城県および当社ホームページで公開しています。

発電所敷地内に設置してあるモニタリングポストの現在の測定値は、最大で0.050マイクロシーベルト/時程度で安定しており、健康に影響を与えるレベルではありません。

モニタリングステーションの測定状況(8/31現在)



単位:マイクロシーベルト/時

(参考)モニタリングポストの最小値と最大値※3

〈東北地方太平洋沖地震発生日〉	
2011年 3月11日	0.027～0.064
〈地震発生後最大値〉	
2011年 3月13日	1.8～21※4
〈地震発生から2年と至近2年の(4/1)値および前月値〉	
2012年 4月 1日	0.063～0.098
2013年 4月 1日	0.055～0.076
?	?
2019年 4月 1日	0.036～0.051
2020年 4月 1日	0.034～0.055
2020年 8月 1日	0.033～0.047
2020年 8月 31日	0.034～0.050

単位:マイクロシーベルト/時

※1 モニタリングポストは発電所敷地周辺の環境放射線を測定しています。女川原子力発電所の敷地境界には6基のモニタリングポストが設置されています。

※2 モニタリングステーションは環境放射線に加えて気象データを測定しています。

※3 モニタリングポストの測定値は、宇宙線(宇宙空間を飛び交う高エネルギーの放射線)の影響分が含まれないため、モニタリングステーションの測定値より0.02～0.04マイクロシーベルト/時程度低い測定値となっています。

※4 東京電力福島第一原子力発電所からの放射性物質の放出に伴い測定されたもので、測定された時間は約10分間です。